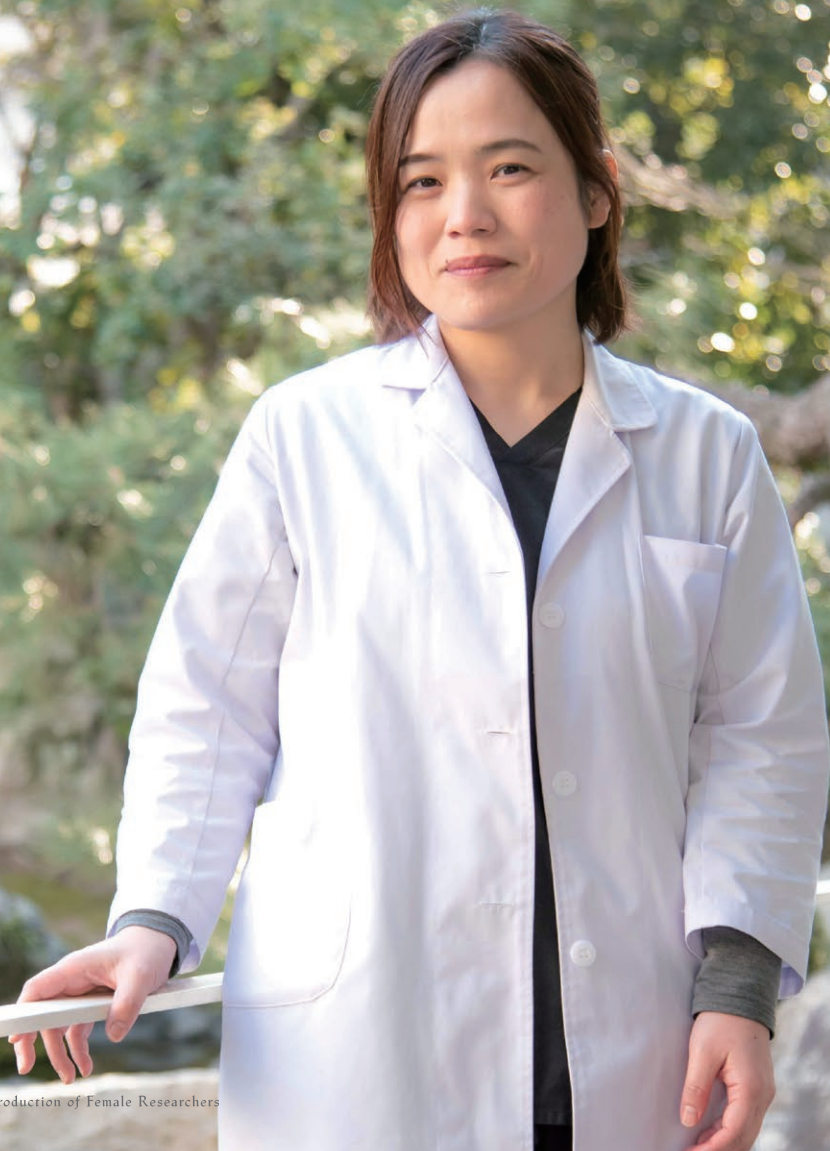


## Researcher profile

医学部附属病院  
脳神経外科

助教 藤井 奈津美

令和3年度AI研究デザインプロジェクト



# AIを用いた 放射線画像解析による 急性期脳卒中の診療支援

## AI × 脳卒中

### 研究内容

脳卒中（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血）の治療は、進化してきており、特に急性期脳梗塞では緊急でのカテーテル治療が著しく進歩しています。山口県内では脳卒中医療の現状として地域格差が大きく、医療過疎と呼ばれる地域がいくつか存在し、場所によって最適な治療を受けられない患者さんが出てきています。この地域格差を解消するために画像転送システムを用いて遠隔医療を行っていますが、医師の負担も大きいため、AIの力を医療に反映し、より簡便で効率的な遠隔医療を行うための研究を行っています。

### 研究の可能性

今まで蓄積したデータをAIに学習させ、画像診断システムと簡易画像転送・共有システムの実用化を目指しています。人間にとっては何の情報にもつながらないことが、AIの学習にとっては大切な情報となる場合があるということを知りました。

### 研究の面白さ

ますますAIが進化し、人間の業務を代行してくれる時代になってきています。人間にしかできない業務がある中で、確実に正確な結果を導き出すAIの方が適している分野については、AIに業務移行することで、私たち人間の仕事をより効率化するとともに、人間にしかできない医療技術に専念でき、より高度な医療を提供できると思います。AIのおかげでできた時間を利用して、新たな研究課題を見つけて実行していきたいと思っています。